



教育目標



- 知** 自ら学ぶ意欲を高め、よく考える人となろう
- 情** 思いやりをもち、共に高め合う人となろう
- 意** 強じんな意志をもち、最後までやり抜く人となろう
- 体** 勤労を尊び、たくましい心身を鍛える人となろう

令和4年度 遠別中学校だより【4月号】

令和4年4月28日（木）発行

「生徒の成長を、保護者・地域・教職員で共に喜び合える学校」を目指して

校長 田谷典久

例年になく雪の多かった冬も終わり、校内には新入生を迎えた生徒たちの元気な声が響き渡り、ようやく春の訪れを感じるようになってきました。

今年度の遠別中学校は、1年生21名を新たに迎え、2年生13名、3年生18名の全校生徒数が52名、また教職員18名でスタートしました。

私は入学式で、新入生に対して「人との出会いを大切に、互いの良さを認め合い、協力して素晴らしい学校をつくきましょう」と話しました。今年度の教育推進キーワード「生かす」「認める」「ほめる」のもと、生徒一人一人の持っている良さを認め、ほめて、そして、それを生かしながら、教育活動を進めていきたいと考えています。これらを受けて、今年度の経営方針を以下のように決めました。

めざす生徒像

自ら考え 判断し 行動できる生徒

生徒会キャッチフレーズ

明るく アクティブな毎日を！

生徒会役員の皆さんが
考えてくれました！

今年度の経営方針

生徒の自己肯定感を高め 「チーム遠中」による組織的取組の推進
推進キーワード 「生かす」「認める」「ほめる」

今年度も、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した中で、可能な限り生徒の教育活動を保障し、地域の「宝」である生徒の育成に全力で取り組んでいく所存です。地域や家庭と学校をつなげているのは「生徒」であり、その成長を互いに喜び合える学校を目指して学校経営に努めてまいります。どうぞ、本校の教育活動にご理解、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

令和4年度 入学式

4月6日（水）、21名の新入生を迎え、令和4年度の入学式を行いました。今年度もコロナ禍での実施となりましたが、保護者や上級生が見守る中、堂々とした態度で式に臨む姿から、中学校生活にける思いが伝わってきました。

事前の短学活では、入学式の動きについて担任の説明を真剣に聞いていました。

新入生を代表の愛場瑛太さん。「1日も早く中学校生活に慣れ、先生方や先輩方にたくさんのことを教えていただき、立派な中学生になるよう努力することを誓います」と述べていました。

